

# ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/joseikatuyaku/ladygp/f-net.html>

福井県とお茶の水女子大学が共同で作成・実施する女性リーダー育成研修プログラム「未来きらりプログラム」。9月からは、いよいよ2つのコースに枝分かれし、企業リーダーコースは「仮想プロジェクト」に、製造業リーダーコースは「ものづくりスキルアップ講座」に取り組んでいます！！

## 企業リーダーコースは「仮想プロジェクト」始動！

9月16日、仮想プロジェクトがいよいよスタートしました。「仮想プロジェクト」は、提示された課題の解決方法を、グループ(6~7名)で企画立案、プレゼンテーションまでを実践する6回シリーズの講義です。



今年のテーマは「ふくいの地魚を使ったビジネスプラン」



9月16日(金)



オリエンテーション「福井県の水産業」



説明者: 県水産課 参事 石田 敏一 氏

福井県の魚がなぜ新鮮で美味しいのか説明いただきました。福井県は、日本海のほぼ中央に位置するという地理的な要因により魚の種類が豊富であり、魚場が漁港に近いので、水揚げした魚を新鮮なうちに食べられるということでした。また、近年は、**魚消費量の減少が続いている**ことが大きな課題となっているとのことでした。



講義 「プロジェクトの進め方」



講師: 株式会社電通

マーケティングソリューション局長 林 信貴 氏

「企画とは何か」について理解するために、**エレベーター待ち時間のクレームや、住宅街の空き巣をなくした有名な企画事例**を紹介いただきました。情報を収集し、現状を分析することにより、理想像・根本的問題・課題設定を明確にし、**しっかりとした思考の型を持つことが大事である**と教えていただきました。



グループワーク



**福井の地魚を使ったビジネスプラン**を各グループで話し合い発表しました。「魚カフェ」、「格好いい漁師さんが魚を捌き販売する」、「魚のネット販売」、「福井駅近くに海鮮市場を作る」、「魚を育てる」など様々なアイデアが提案され、来年2月の発表が楽しみになりました。

(担当: 周、高倉)

## 10月25日(火) \* 仮想プロジェクト 「アイデア発想方法」 \*

講師：一般社団法人日本経営協会 専任講師 加藤 奈穂子 氏



前半に**マーケティングの基礎**について講義を受け、「**環境変化への対応力**」の必要性や「**メッセージの伝達**」「**視点転換**」の重要性を学びました。

後半は、今回の仮想プロジェクトのテーマである「ふくいの地魚を使ったビジネスプラン」に沿って、グループワークを行いながら**アイデア発想方法**を学びました。

「ブレインストーミング」で思いつく限りのアイデアを出し合い、そのアイデアを入れ替えることで、さらに新しいアイデアを生み出す「カードシャッフル」を行いました。

実践していく中で、自分では思いつかないアイデアに驚いたり、一つのアイデアを元に別のアイデアが派生したり、どんどん発展していく面白さを体感することができました。

講義終了時に、各班今回の講義を受けて固まってきた企画のコンセプトを発表しました。このコンセプトを軸に、チーム一丸となって、より実現可能性の高いビジネスプランを企画していきたいと思います。

(担当：浅見、小谷)

## 11月8日(火) \* 仮想プロジェクト 「マーケティング」 \*

講義では、「**データ分析の手法**」と「**戦略の立て方**」を学びました。マクロ分析、ミクロ分析などを通して、見えなかったことに気づかされる場面もありました。SWOT分析ではクロスSWOT分析という手法を用いて、分析しながら、そこから拾える案もあるということを学びました。意外にも**弱み(W)**を**チャンス(O)**に変えることができるなど、考える視点を変えるだけでいろんなアイデアが生まれるのだと改めて気づきました。そして実際販売する前の戦略の立て方では、**希少性や、フリーミアム戦略**など、今の時代に合ったものを学びました。



いよいよ、各班の企画内容が固まってきたようです。ここから今回の分析の手法も用いながら、地に足のついたプランにしていきたいと思います。

(担当：清水)

今まで顧客として何気なく商品を手にしていましたが、今回のマーケティングの講義を受け、一つの商品を売るためにデータ分析～戦略という流れから商品が生まれることを知りました。手法ではマイナス面から考えるという手法もあり、発想の転換が必要となってきます。グループでは様々な案が出ましたが、もっと情報収集して現状を把握し、そこから顧客が求めているものを見出すことが必要だと思いました。

(担当：米澤)

### 編集後記①

9月からスタートした仮想プロジェクト。2月の発表会で「福井の地魚を使ったビジネスプラン」のプレゼンテーションを成功させ、それぞれが成長した姿をみせられるよう、チームのメンバーと協力し、切磋琢磨しながら頑張っていきたいと思います。

(担当：出口)



# 製造業リーダーコースは「ものづくりスキルアップ講座」がスタート！

今回からは製造業リーダーコースのメンバー10名での講義になりました。親睦会を経て、メンバーの結束はとて強くなりました。講義内でもざっくばらんに話し合い、高めあえる講義が行えたと思います。

9月6日（火）



ものづくりスキルアップ講座①



## 「ものづくりに生きる女性の視点」

講師：一般社団法人中部産業連盟 マネジメント開発部 部長 杉藤 里美 氏



今回から始まった「ものづくりスキルアップ講座」ですが、初回は講義会場である、福井県工業技術センターの見学から始まりました。ここでは、メンバーの所属企業の技術展示もあり、より、メンバーの会社に対する理解も深まりました。また、改めて福井の技術力の高さも再確認いたしました。

講義では、女性がいかにか「問題意識を持つか」をテーマにお話しいただきました。リーダーになるためには、与えられた仕事だけではなく、企業全体を見渡して「今何が問題なのか」「その問題に対して自分ならどうするか」を考えていく必要があることを再確認しました。そして、その上で、女性であることを強みに、問題解決や、新規提案等をしていくことが大切であると実感しました。今後の半年の講義を受け、自分をどこまで高めることができるかわかりませんが、何かつかめればよいなと改めて感じました。（担当：久保）

11月17日（木）



ものづくりスキルアップ講座③



## 「ものづくりの全体像の理解」

講師：一般社団法人中部産業連盟 マネジメント開発部 部長 杉藤 里美 氏

ものづくりの全体像を知るといことで、加工を効率よくする為に何がムダなのかについて考え、ムダ排除による原価低減や、開発・設計～出荷までの付加価値・非付加価値の役割も十分に効率UPに繋がることを学びました。

会社の経営を意識することはあまりありませんでしたが、一つ一つの改善が利益を生み、経営に繋がっているということが改めてよくわかり、私達はリーダーとしてこの思いを他の従業員に伝える必要があると感じました。少しでも効率よく利益に繋がると、仕事への意欲やモチベーション向上にもつながると思います。

グループディスカッションでは自社の価値は何か？ムダはどんな事があるか？を議論しました。価値よりもムダの方が溢れるほどあり、グループの皆さんと共感したのが印象的でした。同じ製造業で仕事しているメンバー同士、作っているモノや携わっている工程は違っても思うことは共通していると思いました。（担当：山本）





## 「現地研修(1) 県内企業」

講師：一般社団法人中部産業連盟 マネジメント開発部 部長 杉藤 里美 氏

## 1社目：株式会社 シャルマン

事業内容：メガネフレーム及び医療器具の開発、製造、販売  
従業員数：1,948名（内 製造 430名）

工場に入って一番感じたことは、作業環境のすばらしさです。掲示物が至る所にあり、誰が見てもわかり、中身の充実さなど、見習うところが沢山ありました。

また、見学の後には女性社員との交流会もありました。人間関係の難しさや、コミュニケーションの大切さについてのお話の他、女性としてチャレンジしていく上では、周りの男性とお互いに理解を深める必要があるなどというお話も聞きました。これらのことを参考に、もっと女性が働きやすく、やりがいのある職場にしていきたいです。

(担当：正木)



## 2社目：株式会社 福井村田製作所

事業内容：セラミックをベースとした電子部品（積層コンデンサ）開発、製造  
従業員数：3,600名（内 男性 2,600名 女性 1,000名）

工場視察では、とてもきれいな作業環境の中でしっかり品質管理がされていると感じました。提示されていた改善提案活動も、社員一人ひとりが問題意識をもちながら自己啓発・相互啓発されているのが見受けられました。



女性社員との交流会では、福利厚生が充実していることで、女性がずっと働ける環境・職場であるという事、その中でリーダーとしての役割を果たし、また自分自身も新しいことへのチャレンジを忘れないという姿勢、コミュニケーションの重要性など、お二人のお話から学ぶべき事がたくさんありました。やはりコミュニケーション能力や周囲を巻き込む力は女性の方が優れていると思います。自分が目指すリーダー像が少し明確になってきたような気がします。（担当：笹岡）

## 編集後記②

現地研修では、他企業を見学する貴重な体験をさせて頂き、同じ製造現場で働く私達にとって女性として頑張られている方々の話を直接聞いて、共感したり、励みになったり、とても勉強になりました。

これから、企業において自分が何を求められているかを考え、中核人材となる為の知識を吸収し、企業・職場において実践していきたいです。（担当：辻川）

## ふくい女性ネット（第9期）参加企業 — ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業 —

株式会社アイル	株式会社岩崎機工	株式会社ウォンツ	株式会社ウォンツ・ジャパン
株式会社ウララ・コミュニケーションズ	株式会社エイチアンドエフ	小浜製網株式会社	社会福祉法人敬仁会
株式会社米五	坂井市	鯖江市	株式会社三栄商会
株式会社ジャルダン	株式会社信越マグネット	社会福祉法人新清会	株式会社 SHINDO
有限会社すのうどろっぷ	株式会社西友	日華化学株式会社	株式会社日本エー・エム・シー
株式会社日本オカダエンタープライズ	日本商運株式会社	福井キヤノン事務機株式会社	株式会社福井銀行
福井県国民健康保険団体連合会	福井県庁	福井県民生活協同組合	福井商工会議所
公益財団法人ふくい女性財団	学校法人福井仁愛学園	国立大学法人福井大学	福井経興興業株式会社
福井鋳螺株式会社	フクビ化学工業株式会社	株式会社ふじや食品	株式会社 PLANT
北陸電力株式会社福井支店	マイラン EPD 合同会社勝山事業所	社会福祉法人町屋福祉会	株式会社ヤサスキ

(40社 50音順)